

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	西区役所庁舎新築	
建設地	西区 寺尾東3丁目4384-1、他9筆	
用途地域	都市計画区域内、第	
建物用途	事務所、	
竣工年	2013年11月 予定	
敷地面積	6,202.64 m ²	
建築面積	1,185.74 m ²	
延床面積	4,235.35 m ²	
階数	地上4F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2012年7月10日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{62}{32} = 1.9$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.7		バリアフリー	4.0
			維持管理	4.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.7		耐震・免震	3.8
			信頼性	3.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	4.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	1.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	4.0		まちなみ・景観への配慮	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	4.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 3. 駐車場の舗装は浸水性舗装とし、大雨にも備え、また自然循環で地球にも優しい計画とした。
- 4. 太陽光発電で再生可能エネルギーの比率を多くした。
- 5. 衛生器具、水栓器具は節水機能の大きい器具を採用した。

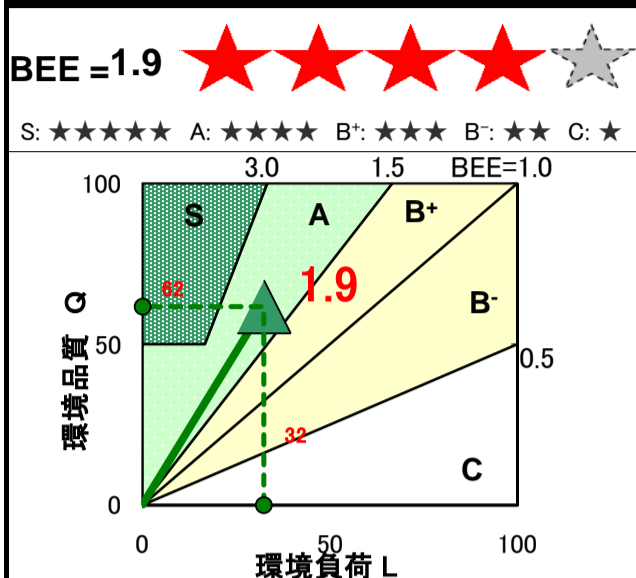
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

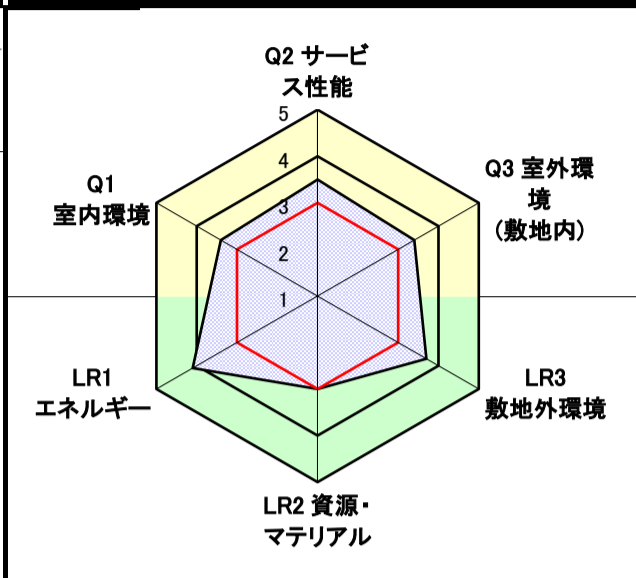
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

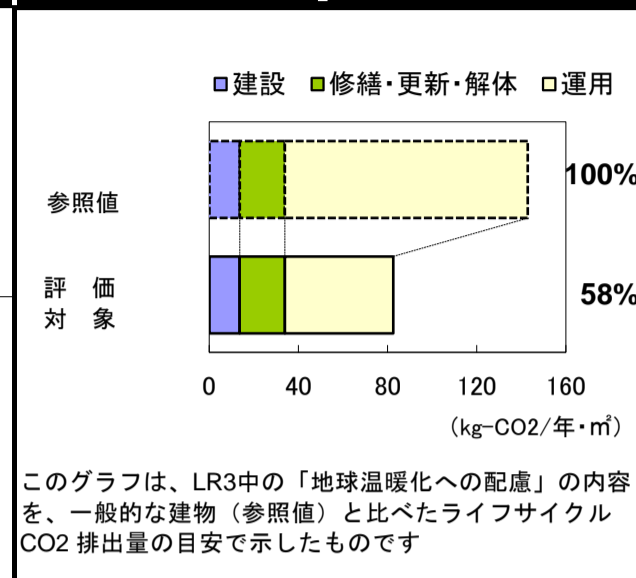
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



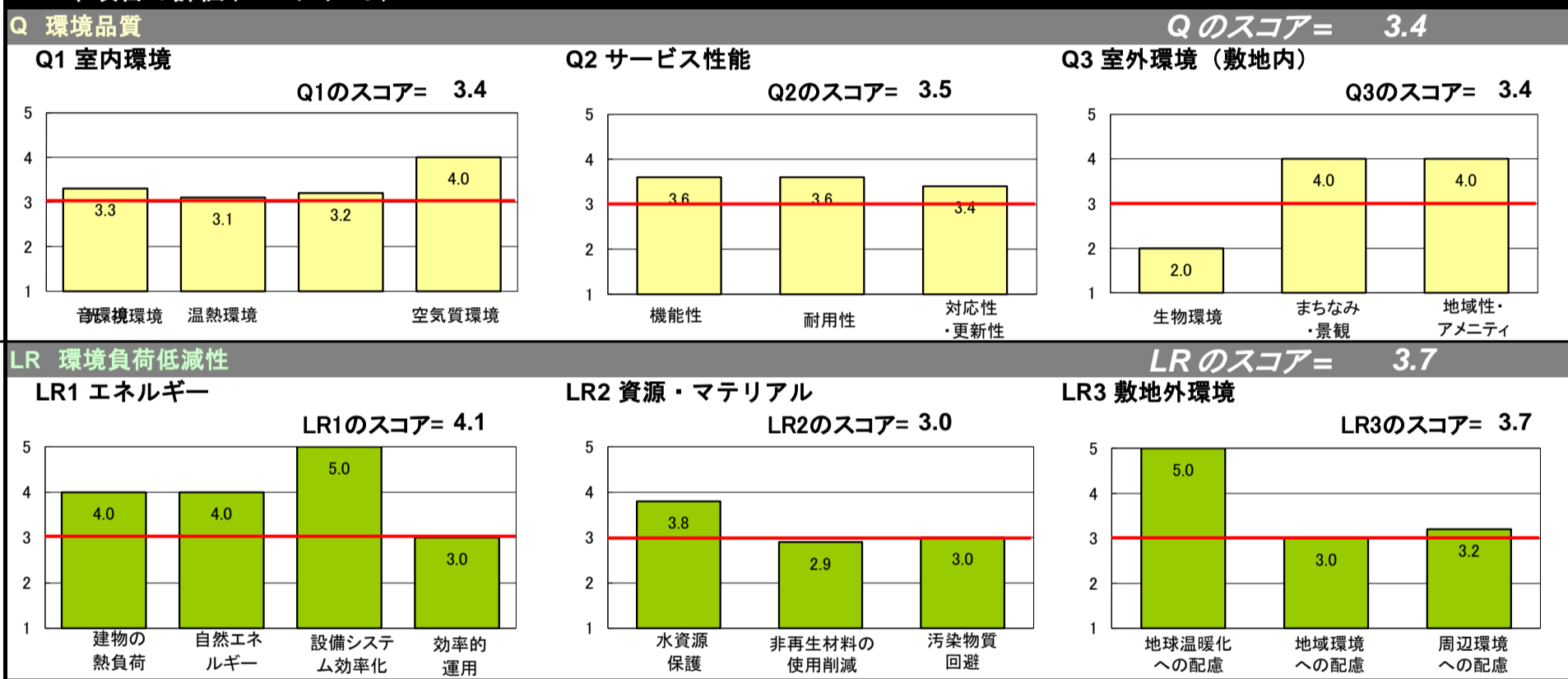
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 1. 地球、市民に対して優しい計画とした。2. 自然災害に対する強さ、防災拠点としての位置付けの計画とした。3. 近隣の風景に溶け込むようなデザイン・配置とした。以上3点を基本軸に設計を行った	その他 1. 建設工事における廃棄物削減の取り組みをしている機器、資材、工法等を積極的に採用する。2. リサイクル資材を積極的に採用する。3. 地場産の材料・資材を積極的に採用する。	
Q1 室内環境 1. 明るい環境で照明を出来るだけ使わない、採光計画とした。2. 出来るだけ間仕切りは無くし、大空間の執務室を計画した。3. 温熱環境、空気質環境を、低インシヤル・低ランニングコストで実現するよう工夫した。	Q2 サービス性能 1. 子供が遊びながら待てるキッズコーナーを設置した。2. 赤ちゃん連れのお母さん・お父さん用に授乳室を設置した。3. 喫煙者のため、また受動喫煙防止のため、完全に囲った1室を設置した、また職員の喫煙者用にも喫煙室を設置した。	Q3 室外環境(敷地内) 1. 雨水排水負荷低減対策として駐車場内は浸水性舗装とした。2. 緑地を確保しアスファルト部分を減らしヒートアイランドの緩和となるよう駐車場のタイヤの乗る部分以外を芝生とした。3. 敷地内の植栽を増やし人・植物に優しい外構計画とした。
LR1 エネルギー 1. エネルギー消費量の一番大きい空調方式は、高効率機器で個別分散方式とした。2. 照明もエネルギー消費が大きいのでLED照明を積極的に採用した。3. 建物からの熱損失を少なくするため断熱性能の良い外壁・屋根・窓ガラスを採用した。	LR2 資源・マテリアル 1. 植栽の散水用に、雨水利用装置を設置した。2. 重要書類保管庫の消火設備には、地球環境にやさしい温暖化係数ゼロの窒素消火設備とした。3. 建設・解体で地球環境に負荷の少ないS造で計画した。	LR3 敷地外環境 1. 周辺道路の渋滞等を引き起こさないよう、既存庁舎での駐車台数以上を確保した。駐車場出入口は交差点より離して計画、また交差点近くは入口専用として計画をした。3. 周辺への環境に配慮し、圧迫感の少ない4階建てとし、敷地中央部に配置した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される